

⑱一般社団法人つなぐプロジェクト (米子市)

生きづらさを感じている子どもが気軽に立ち寄れる、家でも学校でもない「第三の居場所」として、米子市角盤町1丁目「てなぐんて(てとて)つなぐん家」を運営する。木の温かみを感じられる空間で一人一人に合わせたサポートを行い、子どもたちの「自立」を目指す。

2022年11月に開所。施設は3階建てで、1階は「知育・徳育」として木のおもちゃなどで気軽に遊べる。2階は「食育」として食事や勉強ができるリビングがあり、3階は「才育」



子どもたちの自立目指す

ボランティアスタッフと一緒に勉強に取り組む子どもたち



としてより集中して勉強や読書ができるスペースがある。床や壁など随所に県産材を使い、ぬくもりある空間を目指した。

会員は小学1年～高校3年の51人。月々金曜の午前9時～午後8時に開所しており、子どもたちは好きな時間に訪れる。施設では勉強したり、本を読んだり、おもちゃで遊んだり、思

い思いに過ごす。運営には成人のボランティアスタッフのほか、地域の大学生らも加わっている。

目指すのは子どもたちの自立。基本的なマナーを身に付けるなど、施設での時間を通じて生きる力を養う。いつか学校と何らかの関わりが持てるように、一人一人の事情に合わせて支援している。

鳥取県がふるさと納税の仕組みを活用して地域づくり団体を応援する「ギフ鳥」の寄付対象団体にも登録され、活動への寄付を募っている。

つなぐプロジェクトの今川由紀子代表理事は「活動を積み重ねて事業スタイルが見えてきた。サービスの質向上とともに、親へのサポートも充実させていきたい」と意気込みを語った。